

平成20年度(2008.4～2009.3)

4		内閣府の総合科学技術会議が選定した社会還元加速プロジェクト「言語の壁を乗り越える音声コミュニケーション技術の実現」の研究を開始、MASTARプロジェクトが発足
		原子泉型一次周波数標準器CsF1が国際承認され、不確かさ 2×10^{-15} を達成
5	2	超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)による世界最高速1.2 Gbpsの衛星データ通信に成功
	12	超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)広域電子走査アンテナによる622Mbps衛星データ通信に成功
6	17	アジア・太平洋地域で初のe-VLBI実験に成功
		立体ハイビジョンIP伝送の実用化実証実験に成功
		立体映像を手に持って楽しめるキューブ型3Dディスプレイ「gCubik」を開発
		超臨場感提示技術により貴重な文化財の立体映像、感触、音をリアルに再現する多感覚インタラクションシステムを開発
		窒化ニオブ(NbN)超伝導SIS受信機の実用化に世界で初めて成功、Applied Physics Letters誌に掲載
		絵画の非破壊調査に使用可能な小型で可搬型のテラヘルツマイクロスコープを開発
7		広帯域無線通信信号や電磁雑音のスペクトラム統計量をリアルタイムで測定する技術を世界で初めて実現
		リアルタイム宇宙天気統合シミュレータの開発に世界で初めて成功
		ロボカップ世界大会@ホームリーグで優勝
8	5	アジア太平洋先端ネットワーク会合において高精細動画像の高品質伝送実験を実施
	8-24	北京オリンピック期間における音声翻訳モニター実証実験を実施
	25-9.12	シングルモードファイバ直結型の空間通信により1.28Tbpsの長時間伝送に成功。
9	15	理化学研究所と共同で統合テラヘルツデータベースを供用開始
		立体音響スピーカーシステムを開発
		超伝導単一光子検出システムの開発に成功、世界最高性能を実現。
		数値・固有名詞情報を自動抽出し可視化するテキストマイニングシステムを開発
		「新世代ネットワークビジョン」を発表
		大画面フルハイビジョンの裸眼3Dディスプレイの試作に成功
11	26	電子タグを利用した測位と安全・安心の確保に関する実証実験を実施
		光通信技術の性能限界を超える低誤り率での信号検出が可能な量子受信機の原理を世界で初めて検証
		日米大陸間DCN技術の実証実験を実施
		実写立体像の再生が可能なカラー電子ホログラフィを開発
12		複数キャリア間のイーサネット仮想回線の自動設定による相互接続に成功
		ドイツのTerraSAR-X衛星と双方向レーザ伝送に成功
1	1	うるう秒を挿入。
	7	国立大学法人大阪大学と脳情報通信分野における融合研究に関する基本協定を締結。
2	5	仮想化ネットワークを利用した未来型放送利用実験に世界で初めて成功
	26	次世代ホームネットワーク公開サービス実験を実施
	27	「染色体挿入型GFPライブラリー」をWebで無償公開開始
		走査型プローブ顕微鏡の探針先端を3次元で位置決めするシステムを開発
		非破壊のテラヘルツ波技術で初期ルネッサンス絵画の技法を世界で初めて解明
		コグニティブワイヤレスネットワークの基礎アーキテクチャに関して、IEEE 1900.4標準仕様を策定、同規格準拠のモバイル無線ルータを開発
3	25	高度言語情報融合フォーラム(ALAGIN)を設立
		光ファイバーの熱破壊の遠距離検知・阻止に世界で初めて成功